

<校区の概要>

平成17年に旧吉松町と旧栗野町が合併し湧水町となった。旧吉松町全域が校区にあたる。

吉松校区は県北端に位置し、宮崎県えびの市と隣接する。昔から鹿児島・宮崎・熊本の三県を結ぶ要地で、国鉄時代、肥薩線と吉都線が交わり、機関区が置かれたことから「鉄道の町」として栄えた。

校区の中央を南北に川内川が流れ、霧島火山系にある吉松盆地は豊かな自然と温泉に恵まれている。平均気温は鹿児島市に比べ3~4℃低い。

稲作が盛んで、山間に水田が広がっている。朝晩の寒暖差大きいため美味しいお米がとれる。栗野岳の山裾に広がる沢良高原には木原牧場や上床牧場があり、畜産も盛んである。一方、川内川が氾濫したり、えびの地震が発生したりしたことで、住民は防災意識が高い。

